15議員が質問 町政を問う

3月4日、近隣の自治体において、コロナウイルス感染者の報告がありました。
このため、3月5日の一般質問は議員それぞれの判断により、質問内容の調整を図り、会議時間の短縮に努めました。

	ページ		質問者	質問事項	担当部
会派代表	7		政和クラブ 大岩　保	●令和2年度予算	総
	8		きずな 青木信哉	●武豊町が結ぶ各種協定･覚書など	企 福 経
	9		日本共産党議員団 梶田　進	●令和2年度予算、経済情勢 ●令和2年度予算、会計年度職員 ●令和2年度予算、国民健康保険 ●令和2年度予算、公共施設使用料改定	総 企 福
	10		公明党議員団 甲斐百合子	●令和2年度予算 ●相談窓口	総 企 福
個人質問	11	上	森田義弘	●ごみの減量	経
		下	石川義治	●下水道事業の公営企業会計適用	建
	12	上	南　賢治	●中心市街地のまちづくりに対する町の関わり方	建
		下	鈴木一也	●武豊中央公園（防災公園）	建
	13	上	石原壽朗	●まちの魅力向上	企
		下	青木宏和	●住民対話集会におけるご意見･ご要望	総
	14	上	鳥居美和	●認知症の方々への本町の取り組み	福
		下	久野　勇	●高齢者対策	福
	15	上	櫻井雅美	●災害時の医療体制 他に「小中学校における全員担任制導入」質問	総 福
		下	野田佳延	●教職員の多忙化	教
	16	上	本村　強	●多胎児家庭への支援の必要性	福

総 総務部　企 企画部　福 健康福祉部　経 生活経済部　建 建設部　教 教育部

政和クラブ
大岩　保 議員

令和2年度予算について

各種施策を「前」に進める

Q 「重要な予算編成」と位置付ける令和2年度予算を、どの様に編成されたのか。

A 町長 令和2年度は「第5次武豊町総合計画・後期戦略プラン」の最終年度になる。各分野に掲げた各種施策を着実に「前」に進め、一方では、長期的な視点から、本町の将来構想を固めていく「政策の選択」を行った。

予算編成にあたっては「安全安心なまちづくり」という視点を最重要課題と捉え、通学路における、交通安全施設の整備、防犯カメラについては、これまでの公共施設への設置に加え、主要交差点および公園などに、合計31台を設置する費用を計上した。

子育て分野では、緑丘児童クラブ別棟新築工事、また、切れ目のない支援の充実を目指し「10か月児すくすく相談事業」にかかる費用を新規予算で計上した。

また、将来のまちづくりを見据え、武豊中央公園整備事業、屋内温水プール建設事業などに、重点的に予算配分を行った。

地方債の効果的な運用に努める

Q 今後の町債、財政調整基金の運用についての考え方は。

A 総 令和2年度から令和4年度にかけては、屋内温水プールをはじめとした、主要事業の継続や、南保育園大規模改修工事、総合体育館天井等非構造部材改修工事など、投資的事業が数多く計画されている。このため、公債費を超える額の、町債の発行を予定している。

今後も地方債は、将来にわたって町民の皆さんに、公平に負担をしていただくことが適していると思われる事業について発行する。

また、財政調整基金は、令和4年度までは取り崩し、財政運営を行わざるを得ないが、残高5億円を維持し、令和5年度以降は、10億～16億円程度を維持していく。

会派予算要望の反映は

Q 政和クラブ予算要望の中で、令和2年度予算に反映された項目は。

A 総 要望項目の一部ではあるが「通学路等の安全確保、犯罪抑止」の要望については、主要交差点に14台の防犯カメラを設置。「男女共同参画の積極的な推進」については「第3次男女共同参画プラン」の策定。

「専門職員の育成」については、民間専門研修への参加、および職場内研修の実施。

「ゴミの減量」については、刈草剪定枝の資源化促進を目指し、南部エコステーション整備工事実施設計委託料を計上。

また「通園、通学路にあたる歩道の適切な整備」として、主要交差点5か所において、防護柵などの設置経費を計上。

武豊中央公園の整備や、教育現場における、スクールアシスタント、生活支援員、国際交流員などの町独自の施策についても、要望をいただく中、引き続き予算計上した。

きずな
青木 信哉 議員

行政課題への協定・覚書の利用促進を

地域が抱える社会課題に関して自治体と民間企業などが双方の強みを生かして課題解決のため、各種の協定や覚書を結んでいる。

協定・覚書を運用するのに大切なことは

Q どのように運用していくのか。

A 町長 協定には常に連携を図り積極的に推進すべきものと、災害時のように運用されないことが望まれるものなど多岐に渡っている。基本的には定期的な情報交換を行い、課題を共有しながらさらに連携を密にしていく。また必要に応じて協定内容の見直しも図っていく必要がある。

A 企 平成15、16年に締結した町内業者との災害時における緊急協力に関する協定は東日本大震災後、覚書を交わしているが10年近く経っているため、内容について再度、確認していくことも大切である。

積極的に活用されている事例

Q 地域見守り推進事業に関する協定の事例は。

A 福 平成28年に結ばれており、日常業務で町内を巡回されている事業者と町が、相互に連携して孤独死や徘徊の防止に繋げている。事業所からの通報により平成28年に1件、平成29年に2件、安否確認や救急搬送などの支援を行った。

Q 武豊町民などの健康づくりの推進に向けた包括協定の事例は。

A 福 平成30年5月にファイザー株式会社様と締結した協定は、禁煙および受動喫煙を防止するなどの啓発活動を行うことにより、住民などの健康づくりへの推進を図るもので、今年度は12月に禁煙に関する健康セミナーを開催した。

アンケートによると喫煙者の8人中6人が禁煙したいと返答。

活用が不十分では

Q 産学官交流に関する覚書による成果は何かあるか。

A 経 平成20年4月に国立大学法人豊橋技術科学大学と武豊町商工会と締結した覚書において、締結した当初、町内事業所から同大学に対し技術相談の申し入れがあり、将来的に共同研究への発展が見込まれるといった動きがあったが、具体的な成果には至っていない。その後は覚書を活用した事例はない。

Q 活用されなかった要因は。

A 経 職員の認識不足および情報共有不足により、町からの覚書の目的に沿った情報発信および町内事業者への周知活動が行われていない。

Q 今後どのように活用していくのか。

A 経 町内には多くの事業所があり同大学の知的支援が受けられることは有益であると考えられるため、今後も連携していきたい。

▲ 日本福祉大学との包括協定を締結

令和2年度予算要望の実現をもとめて

日本共産党議員団
梶田　進 議員

共産党議員団として令和2年度予算要望した項目から、住民に大きな影響があると思われる項目について質問しました。

会計年度任用職員制度の開始

Q 会計年度任用職員制度の施行により、これまでの非常勤職員の労働条件がどのように変わりますか。

また、非常勤任用職員の内、パートタイム任用職員、フルタイム任用職員となる職員は、それぞれ何名になりますか。

A 企 パートタイム会計年度任用職員は441名の任用を予定しています。フルタイム会計年度任用職員については予定していません。

Q 会計年度任用職員の時間給は、移行前と比べてどのようになりますか。

A 企 今年度と同時間勤務の場合、期末手当を含め、年収ベースでほとんどの職種で増額となります。

均等割の減免制度の導入を

Q 平成30年度より、保険者が本町から愛知県へ移行した結果、国民健康保険税が増税となりました。さらに保険税を引き上げなければならない理由は何ですか。

A 福 愛知県から示される、被保険者ひとり当たりの国民健康保険事業納付金が、増加しています。

また、町の国保財政について、今後も引き続き歳入不足が見込まれるためです。

Q 予算要望として、保険税の均等割の軽減を求めました。予算編成にあたって、高校生以下の減免についてどのような検討をされましたか。

A 福 保険税の改定にあたり、被保険者均等割額については、世帯の加入者数が多い場合に負担が大きくなることに留意して、標準保険税率よりも低く抑えるようにしました。

収入のない世帯や、低所得の世帯については、国の制度により、加入者数と所得に応じた7割、5割、2割軽減が設けられておりますので、配慮されていると考えています。

制度改正により、国保財政は市町村単位から、都道府県を主体とした事業運営に変更されたこともあり、本町独自で年齢の区分による保険税の減免を実施する考えはありません。

公共施設の使用料改定の影響

Q 町民会館などの公共施設の使用料の改定は、使用料見直しガイドラインに基づいていると思われますが、改定の必要性について、予算編成時、どのような検討がされましたか。

A 総 平成28年度4月に制定した「基本指針」に基づき、3年ごとに見直すことにしております。

改定後3年を経過しており、基本指針に基づいて見直しをしました。

予算編成時に必要性の検討を行ったものではありません。

Q 新年度予算への影響はどの程度ありますか。

A 総 使用料改定は、10月1日施行でありますが、新年度予算への歳入計上はしておりませんので、影響はありません。

▲ 武豊町民会館

公明党議員団
甲斐百合子 議員

「断らない相談窓口」の構築を

令和2年度予算について

Q 安全安心のための施策として、新規または拡充された事業は。

A 町長　令和2年度予算は「安全安心なまちづくり」という視点を最重要課題とした。町民会館ロビーの天井改修工事や「武豊町住宅等撤去費補助金」の創設、通学路の主要交差点5カ所に、防護柵の設置を新規予算計上した。

また「ふるさと巡回点検」要望から、衣浦小学校東側の法面に転落防止柵を設置する。

拡充した事業では、防犯カメラを、通学路の主要交差点に14台、公園に5台設置する。

Q 不審者が出没したところなど、防犯としても、今後、計画的に、防犯カメラを設置してはどうか。

A 町長　当面は、子どもたちの見守りとして手掛けていく。今後、いろんな形で拡大の方向に向けて考えていきたい。

Q 愛知県との協調事業に「高齢者安全運転支援装置設置促進事業費補助金」がありますが、事業化のお考えはどうですか。

A 総　愛知県により、制度の創設が検討されている。本町としては、県の動向に注視し、事業実施の準備を進めていく。

Q 高齢者の交通事故を考えると、一刻も早く事業化してほしいが、いつごろと考えていますか。

A 町長　なるべく早く。県の補助事業がわかり次第、いち早く手掛けていきたい。

▲ 安全を見守る防犯カメラ

複合化複雑化した課題解決のための「断らない相談窓口」を

Q 本町には、総合的な相談窓口はありますか。

A 福　福祉の総合的な相談窓口として「地域福祉サービスセンター」を思いやりセンターの1階に設置している。

Q 世帯の複合的な課題を丸ごと相談できる「断らない相談窓口」設置のお考えはどうですか。

A 福　国の動向を注視しつつ、現行の地域福祉サービスセンターの機能を見据え調査研究していく。

Q 本町のコミュニティソーシャルワーカーの配置について、どうお考えですか。

A 福　社会福祉協議会には「コミュニティソーシャルワーカー養成研修」を受講し、専門的なスキルを持ったスタッフが7名在籍している。町内18区の担当制をとり、地域の課題についても把握できる体制をとっている。「断らない相談支援」体制整備とともに、調査研究したい。

Q 地域のために、一肌脱ぎたいという方の、良きアドバイザーとしての相談窓口になっていただきたいがどうか。

A 企　地域の課題解決に向けた住民との協働であると考えますので、企画政策課が窓口になって、相談内容によっては「提案型協働事業」や担当課につなげていきたい。